

だ い い ち が く い ん

第一学院高等学校

先生とのつながりが勉強のモチベーションに
挑戦する勇気を身につけた高校生活



卒業生 **村田 史穩** くん

チャレンジする経験を積んだ3年間

中学1年生の夏休み明けから部活のトラブルで不登校になってしまい、2年半くらい中学に行けていませんでした。当時は高校へ進学するのもあきらめていたのですが、母が不登校だった子でも通える通信制の高校というものがあるのを見つけてきてくれて、そのうちの何校かのオープンスクールに行きました。

色々な学校をまわるなかで、第一学院の人は明るくフレンドリーな印象でした。特に四ツ谷キャンパスの先生がとても面白い人で、先生と生徒が仲良くしている姿にもあこがれを持ったので入学を決めました。

高校に入学してからはほぼ毎日学校に通うことが出来ました。勉強が楽しいと思えたのが大きかったです。普通の授業では一人ひとりの質問に対して授業が止まるということはありませんが、第一学院ではいつも先生がそばにいてくれるし、先生から何か分からないことがないか聞いてくれます。一緒に勉強してくれる人がいてくれると思うと自然とやる気が出てきて、安心して勉強を進めることが出来ました。

入ってすぐにオープンスクールのサポートをするピアサポーターに参加したり、文化祭実行委員を行うなどいろいろなイベントに参加して挑戦をしてきました。なかでも一番思い出に残っているのは2年生の時にいったオーストラリア留学です。オーストラリア留学は夏休みに1週間、全国のキャンパスから集まった50人ほどで行きました。交流イベントがメインだったので英語でたくさん会話する機会がありました。積極的に自分から、交流の場に行って自分の分かる単語だけでも伝えるようにしていました。英語を話すのは難しいですが、無理だと思って話さないのではなく、できる範囲で行動することで抵抗感をなくすことができました。

茨城県の本校で行われるスクーリングでは、慣れない環境で一日勉強というのは正直つらかったですが、友達みんなと一緒にあればつらくないと前向きに取り組みました。夜寝るときは先生の配慮で仲のいい人同士が一緒に部屋で過ごすことができたので楽しかったですね。今大学生になって朝から晩まで授業がある日も頑張れるのは、スクーリングでの経験がいきているのかなと思っています。

第一学院は挑戦することに関しては誰も止めません。むしろ自分でチャレンジする機会というのをたくさん与えてくれます。知らない世界に行くのは最初は怖いと思いますが、ぼくは高校の時から新しいことに挑戦する経験を積んできたので、何でもやってみようと思えるようになっていました。これは第一学院で3年間過ごしてきたからだと思っています。

今年の春から大学生に メディアの関係の仕事を目指して勉強中

僕は将来メディア関係の仕事につきたいと考えていて、一つはファッションモデル、もう一つはステージやランウェイの演出家になりたいという夢があります。大学での勉強は動画編集やHP作成、自分をモデルとして雑誌の表紙をデザインしたりで楽しいです。それでも1年生なのでまだまだ大変で、今は単位をしっかりととりながらモデルのオーディションにも挑戦し、将来につなげていきたいと考えています。

新しい世界に入るといって面では心配する要素はあると思いますが、不安があるのはみんな一緒です。多少の我慢は必要になりますが、周りにも自分と同じような人たちがいる、受け取ってもらえる環境があります。ぜひ色々なことに挑戦してみてください。